

# 上武大学看護学部紀要

Bulletin of Faculty of Nursing, JOBU UNIVERSITY

第5卷第1号

2009年12月

上武大学看護学部

# 目次

## [巻頭言]

.....	森田 孝子	1
-------	-------	---

## [原著]

看護学生の不安に対する認知的評価と Sense of Coherence との関連 ..... 本江 朝美, 高橋ゆかり, 桑田 恵子, 杉山 洋介, 谷山 牧, 益子 直紀, 吉岡 一実		2
---	--	---

## [実践報告]

看護学生の短期海外研修における英語学習に関する意識調査 .....	香月 毅史, 荒井 淑子	12
--------------------------------------	--------------	----

## [その他]

### 資料

乳幼児に話しかけること・褒めることの大切さ - 子育て支援のためのエビデンスを求めて - .....	山本千紗子	19
---	-------	----

### 資料

医療情報の分析における背景知識の利用 .....	豊田 修一	26
-----------------------------	-------	----

## 公開講座報告

成人看護学公開講座の成果と今後の課題 - 救護を中心とした公開講座を実施して - ..... 片貝 智恵, 小西 美里, 千明 政好, 須田利佳子, 森田 孝子		31
---	--	----

[教育研究活動業績] .....		35
------------------	--	----

[上武大学看護学部紀要規程] .....		46
----------------------	--	----

[上武大学看護学部紀要投稿規程] .....		47
------------------------	--	----

## 上武大学看護学部紀要規程

### 上武大学看護学部紀要規程

#### (編集及び発行)

第1条 上武大学看護学部（以下「本学部」という。）は本学部に所属する教員相互の、及び他の教育研究機関との学術研究の推進及び交流を図るため、上武大学看護学部長を編集兼発行人として、上武大学看護学部紀要（以下「紀要」という。）を編集し、発行する。

2 紀要の発行は、パッケージ系電子出版物（CD-ROM、DVD等の有形の媒体に情報を固定した出版物をいう。）によるものとする。

#### (設置)

第2条 前条の事業を行うために、本学部に上武大学看護学部紀要編集委員会（以下「編集委員会」という。）を置く。

#### (組織)

第3条 編集委員会は、編集委員長1名及び編集委員若干名をもって組織する。

2 編集委員長は、本学部の専任の教授の中から選出する。

3 編集委員は、本学部の専任の教員の中から選出する。

4 編集委員長及び編集委員の任期は1年以上とする。

#### (査読)

第4条 紀要への投稿原稿（以下「原稿」という。）は、編集委員会が委嘱した査読者によって審査される。

2 前項に規定する審査は、倫理的配慮に係る事項を含むものとする。

3 審査基準については別に定める。

#### (掲載の可否)

第5条 編集委員会は、編集兼発行人の承認により、査読者による審査を経た原稿の掲載の可否を決定する。

#### (公表)

第6条 掲載が決定した原稿は、第1条の規定によ

る発行と前後して、公衆送信の方法で公衆に提示することにより、公表する。

#### (委嘱)

第7条 事業の円滑な遂行のため、編集発行業務の一部を上武大学附属図書館分館司書室に委嘱する。

#### (雑則)

第8条 この規程に定めるもののほか、紀要の編集及び発行に関して必要な事項は別に定める。

#### 附 則

この規程は、平成17年11月25日から施行する。

#### 附 則

この規程は、平成19年7月3日から施行する。

#### 附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

## 上武大学看護学部紀要投稿規程

### 1. 投稿者の資格

投稿者は、上武大学看護学部専任教員とする。ただし紀要編集委員会が認めた原稿についてはこの限りではない。

### 2. 原稿の内容と種類

1) 原稿の内容は、看護に関わるものとし、他の出版物にすでに発表あるいは投稿されていないものに限る。

2) 原稿の種類は、以下の内容を参考に判断し、著者は原稿にそのいずれかを明記しなければならない。

[原著] 看護学に関連した研究論文のうち、独創性が高く、新しい知見が論理的に示され、看護学研究として意義が明らかであるもの。

[総説] 看護学に関わる特定のテーマについて多面的に知見を概観または文献等をレビューし、総合的に概説したもの

[研究報告] 看護学に関連した研究論文のうち、内容・論文形式において原著論文におよばないが、看護学研究としての意義があり、発表の価値が認められるもの。

[実践報告・症例報告] 看護学に関連する実践結果または症例の報告で、その手段あるいは得られた成果が大きな波及効果を期待できるもの。

[その他] 看護学に貢献する資料等であり、紀要編集委員会が適当と認めたもの。

### 3. 倫理的配慮

1) 研究における倫理的配慮は、「ヘルシンキ宣言（世界医師会）」「看護者の倫理綱領（日本看護協会）」「疫学研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」「臨床研究に関する倫理指針（厚生労働省）」「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイドライン（厚生労働省）」等を遵守する。

2) 本大学研究倫理委員会の審査を経ている

場合は、その旨を本文中に明記する。

3) 研究倫理委員会の審査を受けていない場合は、本文中に具体的に行った倫理的配慮について明記する。

### 4. 原稿執筆の要領

1) 作成は原則としてワードプロセッサを用いる。

2) 原稿はA4版横書きとし、文字の大きさは12ポイントとし、1枚に40字×30行（1ページ1200字）として印字する。

3) 投稿原稿の1編は本文、文献、図表を含めて下記の字数以内とする。これを超えるものについては受領しない。

[総説] 20,000字以内

[原著] 20,000字以内

[研究報告] 16,000字以内

[実践報告・症例報告] 10,000字以内

[その他] 10,000字以内

4) 和文原稿は、ひらがな、常用漢字、現代かなづかいを用いる。

5) 度量衡は国際単位系（SI単位）を用いる。

6) 外国の人名、地名等は、原語あるいはカタカナとする。

7) 用語は医学用語辞典（日本医学会医学用語委員会編）などを参考にし、外国語、科学物質名、細菌の属名などは原語（タイプした欧文活字体）で、外来語、動植物名はカタカナで記載する。

8) 文中で多用する用語は初出の際は省略しないで、略語を括弧内に示すようにする。

9) 図、表、および写真は本文とは別に作成し、それぞれ図1、表1、写真1等通し番号を付記する。また本文中の右欄外に挿入希望箇所を記載する。

10) 図、表は、印刷可能な鮮明なものとし、縦6cm×横8cmに縮小印刷が可能なものであること。また同サイズを400字印字用紙1枚とみなす。

11) 写真は、白黒、カラー問わないが明瞭な

ものに限る。

12) 文献の記載方法は下記に従う。

(1) 本文中の文献の記載について

- ① 本文中に著者名、発行年次を括弧表示する。

例) これについては「……」(高崎ら, 1992)といわれている。

高崎ら(1992)によれば、「……」(p.86-92)という。

- ② 同一著者に同一発行年次の文献が複数ある場合には、発行年次の後に小文字のアルファベット a, b, c…を順に付して区別する。

例) これについては「……」(吉田, 1984a)といわれている。

- ③ 外国語文献の翻訳版を使用した場合には、オリジナル文献(原書)の発行年次と翻訳版の発行年次を/で結んで記載する。

例) (Collins, 1982/1992)

(2) 文献リストの記載について

- ① 文末につける文献リストは筆頭者名のアルファベット順に列記する。
- ② 著者名は3名までは全員記載する。それ以上については後に他○名(欧文の場合は et al.)と略記する。
- ③ 外国人の場合はファミリーネームを先に記載し、あとにつけるファーストネームはイニシャルのみでよい。
- ④ 同一著者の文献が複数ある場合には、発行年次の早い順に並べる。
- ⑤ 同一著者による文献が同一年次に複数ある場合には、本文中の( )内に記載された発行年次に付した小文字のアルファベット順に並べる。
- ⑥ 文献の記載方法は、雑誌、単行本、翻訳書の種類によって異なる。

[雑誌の場合]

著者名(発行年次): 論文の表題, 掲載雑誌名, 号もしくは巻(号), 最初のページ

数-最後のページ数.

例) 佐藤政枝, 川口孝泰(2007): 人工股関節全置換術後患者の環境移行に関する研究-脱臼回避動作の特性, 日本看護科学会誌, 27(2), 3-14.

[単行本]

著者名(発行年次): 書名(版数), 出版社名, 発行地.

著者名(発行年次): 論文の表題, 編者名, 掲載雑誌名, 書名(版数), ページ数, 出版社名, 発行地.

例) 三浦文夫編著(2004): 図説高齢者白書2004年度版, 141-143, 全国社会福祉協議会, 東京

[翻訳書]

原著者名(原書の発行年次)/訳者名(翻訳書の発行年次): 翻訳書の書名(版数), 出版社名, 発行地.

例) Benner P. (1984): From Novice to Expert: Excellence and Power in Clinical Nursing Practice/井部俊子, 井村真澄, 上泉和子訳(1992): ベナー看護論-達人ナースの卓越性とパワー-(第1版), 116-117, 医学書院, 東京.

- 13) 原著、研究報告を希望する場合には、600字程度の和文抄録ならびに300語前後の英文抄録をつける。さらに日本語および英語のキーワードを3~5語つける。英文抄録は表題、著者名、所属、本文の順にダブルスペースで記載する。

5. 著作物の電子化および著作物利用許諾

著作権者は、投稿原稿が電子化され、国立情報学研究所によって公開されることに、許諾するものとする。許諾については、本紀要編集委員会作成の著作物利用許諾書を提出する。

6. 投稿手続き

- 1) 投稿時には別添投稿原稿表紙に、希望する原稿の種類、表題、英文表題、著者名、

所属名、キーワード、原稿枚数、連絡先、紀要編集委員会への連絡事項などを記入し、原稿に添付する。

2) 原稿は以下の順序で整理し、各ページ下中央にページ数をつけて提出する。

(1) 要旨（和文約600字、英文300語以内）、キーワード

(2) 本文（緒言、方法、結果、考察）、謝辞、引用文献

(3) 英文の要旨およびキーワード（和文原稿の場合のみ）

(4) 図表（題と説明文を含む）

3) 投稿原稿は、オリジナル原稿1部、著者名、所属名、謝辞を削除したコピーを2部、合計3部提出する。

4) 原稿は封筒の表に「上武大学看護学部紀要原稿在中」と朱書きし、上武大学図書館分館カウンターに提出する。郵送する場合は下記に書留郵送する。

〒370-1393

群馬県高崎市新町270-1

上武大学看護学部紀要編集委員会 宛

5) 最終原稿提出時には、CD-ROM等の電子媒体に機種名とソフト名を記載し提出する。

6) 画像ファイルについては、拡張子が.jpgや.bmpで登録したものとする。

7. 原稿の受付および採否

1) 原稿の受付は随時行っている。

2) 原稿の受付日は、上記6の投稿手続きを経た原稿の到着日を受付日とする。

3) 原稿の採否および原稿の種類は査読を経て紀要編集委員会が決定する。

4) 紀要編集委員会の判定により、原稿の修正および原稿の種類の変更を著者に求めることがある。

5) 投稿された論文は理由の如何を問わず返却しない。

8. 著者校正

著者校正は、原則として初校のみとする。ただし、校正段階での原稿変更・加筆は原則として認めない。

附則

この規程は、平成19年7月3日から施行する。

「上武大学看護学部紀要」投稿・執筆要綱は廃止する。

附則

この規程の改正は、平成21年5月11日から施行する。

編集委員会 委員長 本江 朝美  
委 員 高橋ゆかり  
委 員 益子 直紀

上武大学看護学部紀要 第5巻第1号 ISSN 1884 - 7315

2009年12月28日 発行

発行者 森田 孝子

編集発行 上武大学看護学部

〒370-1393 群馬県高崎市新町270-1

TEL 0274-20-2115

印刷 宏義印刷株式会社

〒372-0004 群馬県伊勢崎市堤下町74-2

TEL 0270-25-0180